

ベトナムにおける農産物・食品に関する 規格・認証の現状

平成30年度海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業
(諸外国の制度・投資環境等の専門的調査(ベトナム))

平成30年度第2回グローバル・フードバリューチェーン推進
官民協議会 アセアン部会

平成30年12月7日
株式会社国際開発センター

内容

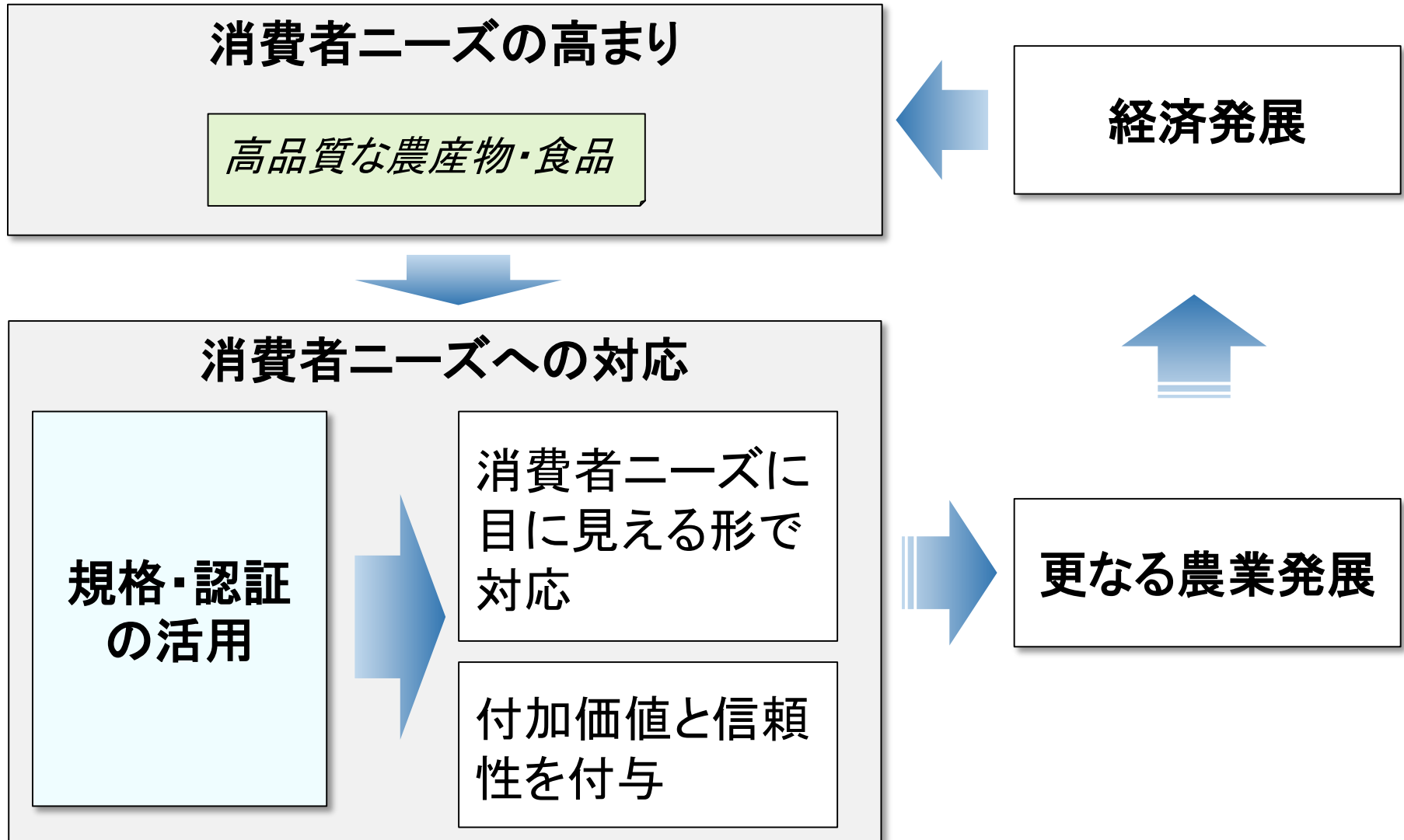
- 背景
- 調査方針
- 作業委員会

第4回日越農業協力対話(2018.4.24)

- 「日越農業協力中長期ビジョン(2015-2019)改訂
- 「ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証の活用に向けた協力覚書」締結

ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証にかかる現状把握の調査を行う。

ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証



調査目的

ベトナムにおける農産物・食品に関する規格・認証の現状と課題把握

調査内容

対象とする規格・認証

1. Good Agricultural Practice (GAP):
 - VietGAP, 国外のGAP (GLOBAL G.A.P等)
2. 農産物・食品の品質規格 (特に有機)
3. 食品衛生管理システム : HACCP, FSMS (JFS), ISO22000

調査項目:

1. 現状と課題
2. 政策・制度、仕組み、普及方法、普及状況
3. バリューチェーンに携わるアクターの認識

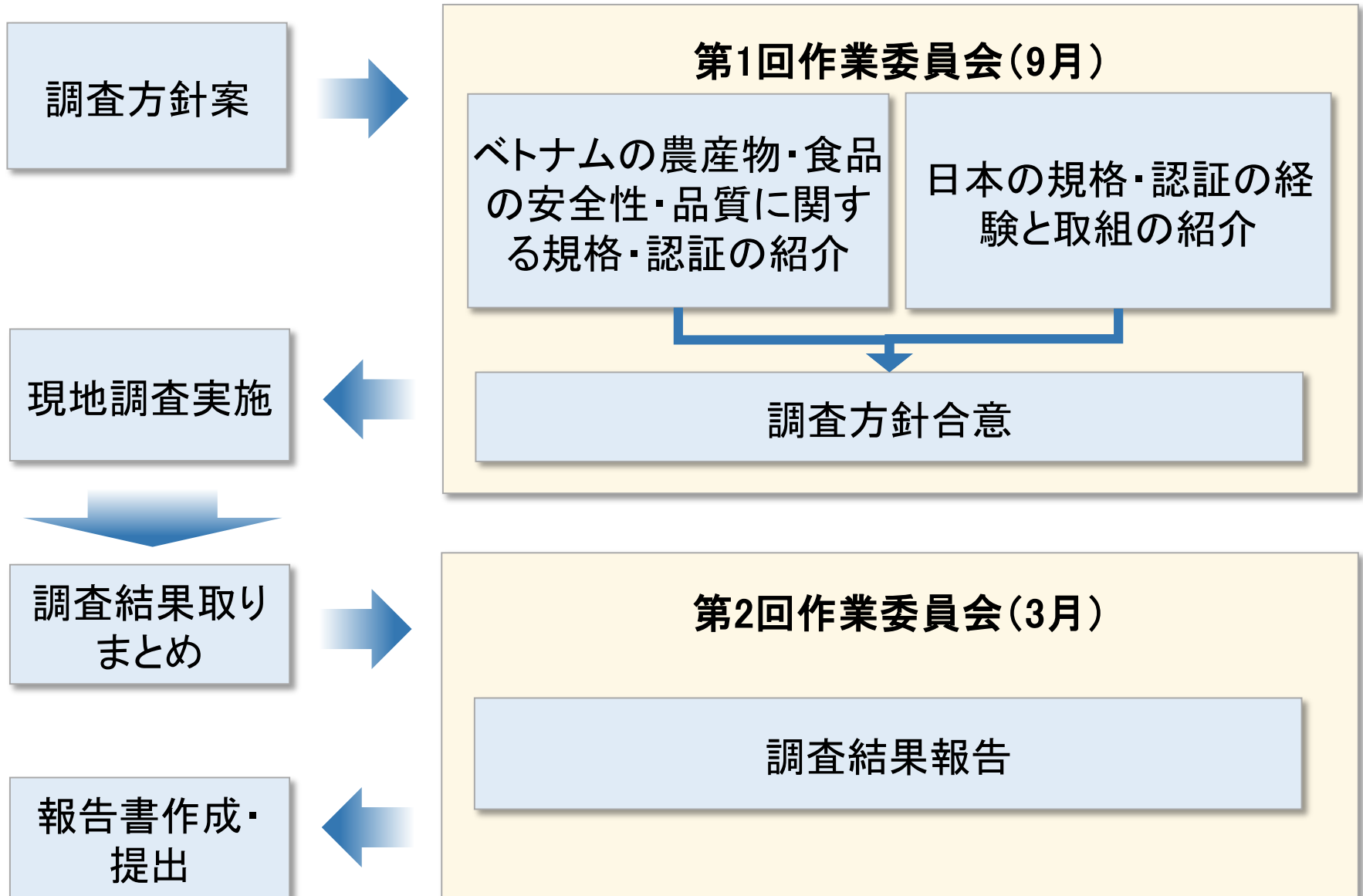
生産者

加工製造
業者

流通業者

小売業者

調査のフロー



調査対象システム	主な調査事項
■ 農業生産工程管理 (GAP) ■ 農産物・食品の品質、製法、管理方法等に関する規格(有機) ■ 食品事業者による食品衛生管理・信頼性確保の規格・認証 (HACCP, FSMS)	● 意向(政策、制度、方針) ● 概要(認定・認証の仕組み) ● 認証取得状況(普及度合い) ● バリューチェーン関係者の認識 ● 課題 ● 日本の制度との差異 ● 日系企業の意向

第1回作業委員会:2018年9月27日ハノイ

出席者:越側13人、日本側17人

目的:

- 日越双方が相互の規格認証の仕組みや意向について理解すること。
- 調査方針(調査対象範囲、日程、現地調査場所等)について合意すること。



第1回作業委員会：2018年9月27日ハノイ

結果：

- 双方の規格認証制度、仕組みについて理解を深めた。
- ベトナムの規格認証は制度設計中である。制度設計について日本からの協力が期待されている。

システム	明らかになったこと
GAP	● 国としてVietGAP認証の推進中。 ● 2018年8月から新たな制度作り(VietGAPの国家規格化)を行っており移行期。
品質管理 (有機)	● プロジェクトレベルで有機の取組を実施。 ● 2017年に科学技術省により国家規格が整備。品目ごとの具体的な制度設計はこれから。グローバルなものとなしたい要望。
食品衛生	● 食品安全法に基づき、水産食品のHACCPの規制を策定。 ● 国主導であり日本の民間主導のシステムと大きな差異。

ご清聴ありがとうございました。